

様式2 令和7年度 清瀬市立 清瀬中学校 学校評価

学校教育目標	人間尊重を基本理念に国際的視野にたち、平和を愛する社会人の形成をめざして、正しい判断力と粘り強い実践力をもった生徒を育てる、/ 健やかな身体と豊かな情操をもった生徒を育てる、/ 高い知性とたくましい創造力をもった生徒を育てる	育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動	○ 自分の意見を相手に伝える能力の開発。プレゼンテーション力の向上を図るために、教科、道徳、総合的な学習の時間すべてにおいて機会を捻出する。 ○ 多様性を尊重する心の育成のために、校内では特別支援学級と通常学級の交流、校外では他校との交流を企画する。様々な交流を通して多様性に触れ理解させる。 ○ 生命や人権を尊重する教育のを推進する。地域連携を視野に入れた防災教育や被災地の連携。小中連携によるボランティア活動を充実させる。
目指す学校像(ビジョン)	【目指す学校像】 みんなで幸せになる 生徒も教師も達成感のある学校 【目指す児童・生徒像】 自己実現 自分に考えをもち、他を思いやり自己実現できる生徒 【目指す教師像】 誇りと情熱をもった教育を行う		

前年度までの学校経営上の成果と課題
 (成果)豊加奈心の育成において成果指標が4となった。グループエンカウンターを導入し生徒主体で展開するなど、人間関係づくりの基本を学べた。健やかな体の育成においても同じく4。常設の体力コーナーやスポーツ大会企画などで運動へのハードルを下げた。また防災と絡めた企画をはじめとする数々の食育企画も好評であった。
 (課題)確かな学力の向上では、授業アンケートにおいて成果指標が3となった。タブレット推進に取り組み授業改善を図ったが、教員による説明の部分が多かった。生徒の双方向の授業場を増やすことが課題。特に今年は、自分の意見を相手に伝える能力の向上に重きを置くので、生徒が発表する場面や議論する場面を効果的に増やすことも課題である。

柱	具体的方策	自己評価		学校関係者評価	次年度以降の改善方策
		評価		学校関係者による「自己評価」についての評価	学校関係者評価の結果を踏まえた改善方策
		取組指標	成果指標		
確かな学力の向上	授業アンケートを定期的に行い、生徒の学習への関心度を把握する。	4	4	生徒の回答を授業改善に反映していくことが大切である。肯定的な意見が多いことに満足せず、常に授業改善を意識してほしい。	・令和8年度も授業アンケートを実施し、授業改善に役立てるだけでなく、学力向上も図っていく。 ・全国学力調査などの結果も検討しながら、学力向上を意識した授業展開を模索していく。
	各学期にタブレット活用月間を設定し、全教員にICTを活用した授業に取り組みさせる。	4	3	生徒も使い慣れている状況なので、ぜひとも授業でのタブレット活用を継続してほしい。	・タブレットを活用した授業に全校で取り組み、引き続き全教員が切磋琢磨する環境づくりを行う。 ・不登校生徒にとっても学校とのつながり手段として、オンライン授業を展開し、学習をサポートしていく。
豊かな心の育成	アセスやシャボテンログの活用をして、いじめの未然防止と共に授業を実践する。道徳の授業を中心として、議論する道徳教材を用いる。	4	3	豊かな心の育成のために、自分とは違う意見を尊重しながら議論する取組は、今後活用できそうと思う。多感な中学生の心を豊かにしてほしい。	・シャボテンログを導入した1年生は、生徒からも自分自身の心身の状態が把握でき、肯定的な意見が出ている。今後、全学年に導入することから、取り組み時間の確保が重要になる。また、データの活用も検討していく。
	各教科や学校行事等において、他者とかかわる体験活動や学んだことを発信する活動をに設定し、達成感を味わわせる。	4	4	他者とかかわる活動を重視し、体験活動や学びの中で振り返りを行った。言葉で表現する、言葉で発言する、発表する時間を大切に、生徒が感じたことをプレゼンする時間を確保することが必要である。	・各教科ではグループ活動を取り入れ、学校行事では他者とかかわる体験活動を重視し、プレゼンテーション力向上を目指しながら活動を行う。また他者理解と共に発表する活動から達成感を味わう体験を展開していく。 ・生徒の自己有用感も高めていく。
健やかな体の育成	保健体育の授業や部活動、体育的行事の指導改善により、生徒の体力向上及び健康増進を行う。スポーツ大会企画を行う。	4	3	運動が苦手な子供も体力向上は、将来を考えると重要になってくる。若いうちに筋力をつけておくことが、社会を支えていく原動力になる。学校の体育授業を充実させてほしい。	・運動が苦手な生徒も体力向上及び健康増進の企画を立案していく。令和8年度は、体育館の改修工事があり、2学期には水泳指導があり、企画実施時期に悩むところだが、生徒会を中心に計画していく。
	食に関する企画を催し、関心を高める。また、ホームページにおいて紹介する。	4	4	清瀬の食材を扱ったり、行事と絡め郷土料理や炊き出しなど、非常にバラエティー豊かに取り組んでいる。体をつくる中学生の時期に多種多様な取組は目を見張る。	・次年度も栄養士と協働しながら、食育に取り組んでいく。また、給食だよりや給食献立を楽しみにしている地域の読者もいて、引き続きホームページに掲載していく。
特別支援教育の充実	学校行事や生徒会活動、部活動等の交流を充実させるとともに、授業のユニバーサル化に基づいた共同学習を推進する。	4	4	部活動などは共同学習を推進し学習の分野なのだと思ふ。重要なのは、共同学習の中で情緒面を互いに支えあう時間となしてほしい。	学校行事だけでなく、学年行事の事前学習や事後学習でも共同学習を推進するため、教員同士でも連携を図る必要がある。学年会でも連携しながら、交流を充実させる取組を計画していく。
	タブレットPCを活用した個別最適な学習活動を展開し、教科指導を充実する。	4	3	場面に応じてタブレットPCを使って授業を展開している。今の子供たちは、タブレットPCの使い方、ソフトの利用も長けている。プレゼンテーション力向上の一助になれば	プレゼンテーションにはタブレットPCを活用し、生徒たちも使い方に慣れている。しかし、インターネット検索をそのまま使う生徒も多く、最適な学習活動には教員側の指導方法を検討していく必要がある。
本校の特色	NPO法人きよせラボあるいは地域支援本部と連携した教育活動を展開する。	4	4	図書館開放、「きよせ10の筋トレ」など、地域連携に力を入れている。また地域の祭り「火の花祭り」にも中学生ボランティアの力は頼もしい。さらに郷土愛が根ざすと良い。	NPO法人きよせラボや学校支援本部、コミュニティースクール委員会と連携しながら、地域に開かれた学校を目指していく。また、地域人材を活用した教育活動も展開していきたい。
	ホームページを定期的に更新 学年便りの発行 ホーム&スクールへの掲載。	3	3	学校だよりから校内での取組が非常にわかりやすく、また校長だよりも定期的に更新され、情報発信を行っており、開かれた学校を感じる。	学校情報を積極的に発信していく。ホームページを定期的に更新し、情報発信することで地域に開かれた学校を目指していく。